

## 二次元vs日本刀展のみどころ 1

### 刀匠とアーティストのガチ勝負

夢路キリコが描いた、自然界に存在しない青薔薇を象徴する日本刀のイラスト。それは日本刀を二本組み合わせて一体化させた、これまでの日本刀の概念ではありえなかった構造体でした。しかし、このイラストに対し、受けて立つ刀匠は、二本の刀身を親子二代の合作でみごとに実現させました。この展覧会では、他にもイラストと伝統の技が融合した、新しい日本刀の形を多数見ることが出来ます。



なゆたごしらえ  
那由他拵



「唯一無二ノカ」

## 二次元vs日本刀展のみどころ 2

### 名品とアーティストも コラボ!

この展覧会では、昔の名品とコラボしているアーティストもいます。米沢上杉家に伝来した重要美術品の太刀(林原美術館所蔵)に挑んだのは颯田直斗。この名刀はもとより、池田家伝来の具足や陣羽織などの名品群と、これらに挑んだアーティストのイラストも多数展示します。



さつたなおと  
「ひのいろ・1」颯田直斗画

#### 「唯一無二ノカ」

夢路キリコ画 vs 那由他拵  
(刀身：二十五代藤原兼房・  
二十六代藤原兼房合作  
／拵：上田隆弘 / ブーケ：高野政代)



かいだ ゆうじ きむらかみつ  
「鬼神の太刀」(開田裕治画) vs 木村兼光作太刀  
展示風景(イメージ)



「鬼神の太刀」

## ◆学芸員のおススメコレクション◆

### 大阪市立美術館 **森徹山「寒月狸図」**

冬の夜、ふと歩みを止めて振り返る一匹の狸。月の光に照らされた後ろ姿からは、哀愁すら感じられます。江戸時代後期、大坂を中心に活躍した森徹山(1775~1841)による作品です。徹山は、円山応挙の門に入りその高弟として名を馳せましたが、本図の狸に見られるような精緻な毛並みの表現には、叔父であり養父でもあった森狙仙からの影響を見ることができます。狙仙は毛描きの技術に優れ、とりわけ猿の絵を得意とした絵師です。このような狙仙から徹山へと続く流れは森派と呼ばれ、近世の大坂画壇における主要な流派の一つとなりました。

(大阪市立美術館学芸員 秋田達也)

※今回紹介した作品は、大阪市立美術館で開催中の特集展示「近世絵画 1750-1850」にて、12月7日(日)まで公開しています。

大阪市立美術館 所在地 〒543-0063 大阪市天王寺区茶臼山町1-82(天王寺公園内) TEL 06-6771-4874  
FAX 06-6771-4856 アクセス 地下鉄「天王寺」5号、15号・16号出口、JR「天王寺」中央改札、近鉄「大阪阿部野橋」西改札  
ホームページ <http://www.osaka-art-museum.jp>



森徹山「寒月狸図」 江戸時代  
大阪市立美術館蔵

大阪市立博物館・美術館・動物園

大阪てくてくミュージアム

大阪市立東洋陶磁美術館 / 大阪市立科学館 / 大阪市立美術館  
天王寺動物園 / 大阪城天守閣 / 大阪歴史博物館  
大阪新美術館建設準備室 / 大阪市立自然史博物館

